

それでは呼びかけをさせていただきます。

新規感染者数が7月16日に20人、17日には33人となり、感染拡大の予兆をとらえるシグナルとしています、2日連続で17人以上となりました。

モニタリング指標を見ますと、直近1週間の10万人当たりの新規感染者数は7.0人となっているものの、病床占有率は、7月19日時点で17.7%、重症者用病床占有率は6.0%と注意レベルに至っておらず、直ちに強い措置を講じる状況ではありません。

しかし、シグナルの数値に達し、これまでの経験から感染者増加の可能性が高いと考えられることから、気をゆるめずしっかりと取り組んでいく必要があります。

あらためて現在の感染傾向をとらえ、今必要な対策について県民の皆さんに呼びかけさせていただくとともに、県としての対策の強化についてもご説明をさせていただきます。

直近の感染傾向を見ますと、6月下旬以降30代以下の若い方の感染が増加しており、直近1週間7月12日から18日では、新規感染者の53.7%が30代以下。

(資料を掲示)ここですね、53.7%。これが30代以下。一方60代以上の方は9.1%で、これ実際1か月前の6月12日から18日、1か月前で行きますと、60代以上が30%あったんですが、そういう意味ではワクチンの接種の効果なども出ているのではないかと思います。

それから感染経路につきましては、家族が48.9%、友人が8.7%ということで、こういう身近なところでの感染が多くなっているということと、職場で16.3、食事会で8.7となっています。

友人や同居してない複数の家族が集まり飲食などを行い、感染が広がった事例や、さらにそこから家族へと広がった事例もあります。

県外の方や普段会わない人と会う際には、感染防止対策をしっかりと意識していても、近所に住む親族、よく会う友人など身近な人と会う際は、気が緩み感染防止対策がおろそかになってしまい、感染に繋がることも考えられます。

また、感染された方の症状を見ると、7月1日以降に公表した事例において、無症状の方も含め、49.8%の方が軽い症状のみとなっています。

続きまして次のスライドですね。

直近の1週間の傾向でありますけれども、外国籍と思われる方や外国に繋がりのある方の感染が多く、この1週間で59.5%となっています。言語の違いにより、感染防止対策やワクチン接種の情報が十分に届かない、文化や生活習慣の違いに合わせ対策についての情報が得られにくい等から感染が広がっていると考えられ、これは決して、外国籍の方が感染しやすいということではありませんので、差別、偏見、そういうことがないように、ぜひお願いしたいと思います。

そういう意味で、県としても、さらなる情報発信の強化や、ワクチン接種への支援、事業者事業所への支援を行ってまいります。

では次のスライドをお願いします。

これまでの取り組みとして基本的な感染防止対策について、外国人労働者を雇用する企業、地域のキーパーソンを通じた外国人コミュニティへの働きかけ、ホームページやSNS等により、多言語での情報発信を行ってきました。また、各支援団体において、YouTubeやネットラジオの活用、外国籍の方が集まる場所での啓発なども実施していただいております。

これらに加えて、新たに次の取り組みを行います。

コミュニティに応じた具体的な感染拡大防止のポイントの周知、それから主張しやすい短い動画、1分間6言語で作成しますが、感染防止対策の発信。

まず、フェイスブックをよくご利用される、とりわけ南米系の方がフェイスブックをよくご利用されるという支援団体の皆さんからの意見がありましたので、こっちを活用するというのと、それから具体的な対策のポイント、このパワーポイントのスライドみたいなので、絵とかですね、言語を入れてやります。これは7月21日に、フェイスブックなどで拡散をしてもらうようにします。

それに加えて1分間の動画。短い動画、1分間ぐらいだと見るという、3分になるとなかなか見てもらえないというようなこともありましたので、それ支援団体皆さんとかからお聞きしました。1分間の動画を8月上旬に配信します。

それから、外国籍の方を雇用する企業向けのセミナーも7回程度やっていきたいと考えています。

それからワクチンの関係です。

これまでも三重外国人コロナワクチン相談ダイヤルで、多言語での対応を行ってまいりましたが、さらに今後新たに次の取り組みを実施します。

1つはワクチン接種の予約支援体制の確立・周知で、こういうダイヤルを活用して予約システムの入力支援、代行入力。接種券が届いたけれど、どうやって予約していいかわからないという外国籍の方々に、システムの予約代行、代行入力。そういうこともやらせていただいて、ワクチンの接種を希望する方のワクチンの接種につなげる。そういうようなことも新たにやりたいと考えておりますし、さらに、外国人労働者を雇用している企業、外国人が学ぶ日本語学校や技能実習生を支援する監理団体等に対して、接種に関する情報の周知。接種や接種後に副反応が発生した際の、療養に伴う休暇取得への配慮等の働きかけを実施します。

(資料を掲示) この下のところですね。副反応の際の療養に伴う休暇取得への、配慮等の働きかけ、つまり外国籍の方々の中には、ワクチン接種はしたいけれども、して、副反応とかが出たときに会社を休んだら、もう会社に行けなくなるんじゃないかというようなご心配をされているの方々もお見えということを支援団体の方などからもお聞きしました。

ですので、安心して希望する方はワクチンを受けていただけるように、こういう休暇とか、こういう配慮を事業所においてしっかりやって欲しいと。というようなことをちゃんと働きかけて、さらにいきたいと思っています。

もう1つは検査の関係ですけど、事業所支援ですが、職場や寮などでの構造的な課題による感染や、そこからコミュニティーへの感染拡大も見られていますので、今年6月に外国籍の方を雇用されている事業所で、希望のあった事業所274事業所に対して、抗原定性検査キットを配備しておりましたが、新たな取り組みとして、未配備の事業所を対象に、再度募集を7月15日から開始をいたしまして、体調の悪い方とかいるような予兆が見られたら検査をやって、早めに拡大を防ぐというようなことについても取り組んでいきたいと思っております。

感染拡大防止に向け、県において新たな以上のような取り組みを実施してまいりたいと考えておりますが、繰り返しになりますけれども、決して外国籍の方が感染を広げているというわけではありません。

言語や生活習慣の違いにかかわらず、三重県に住んでいるすべての人がとるべき対策をご理解いただいて、対策に取り組んでいくとともに、ワクチン接種を希望する方が1人も取り残されず接種を受けることが、受けられることが、感染拡大の防止に繋がりますので、引き続きオール三重で一緒に取り組んでいただきますようお願いをしたいと思います。

続いて感染状況にあった感染防止対策についてお願いをさせていただきます。

(資料を掲示)先ほど言いましたように、ここですね。7月に入ってから18日までの約半分。49.8%の方が軽い症状でありますので、軽症の方が多い中、気づかないうちに感染を広げないためにも、発熱だけでなく、喉が痛い、体がだるい、鼻水、など軽い症状であっても外出を避け、たとえ普段からよく会う友人などであっても接触を減らし、家庭においても、マスク着用や別室で過ごすなどの対策をお願いします。あわせて、早期にかりつけ医など身近な医療機関への相談をお願いします。

これから夏を迎え、7月22日からの4連休、夏休み、お盆などで、普段会わない友人、親族などと会う機会が増加します。特に若い世代の方においては、友人などと一緒に過ごす時間がさらに増加することも考えられます。

家族以外の人との飲食の際に会話をする場合は、必ずマスクを着用するなど今一度、基本的な感染防止策の徹底をお願いいたします。

なお、帰省や旅行は、お盆など人の移動が集中する時期を避けて計画いただき、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が適用されている首都圏や大阪府への移動は避けてください。

また、バーベキューなどの屋外で飲食を行う機会も増える季節となります。

たとえ屋外であっても、大人数や長時間は避け、感染防止対策の徹底をお願いします。

県としましても、多くの人が集まり飲食も想定される海岸や河川敷、公園等に注意喚起看板を設置します。4連休など人が集中する時期については、海水浴場を中心に広報車等により、感染防止の徹底を市町と連携して呼びかけてまいります。

また、これらは多くの県民の皆さんにご理解いただけるよう、多言語で実施をいたします。

あわせて、オリンピック・パラリンピックの開催が近づいているところですが、ご家族以外で、大人数長時間で感染することは感染リスクが高くなりますので、極めて慎重な検討をお願いします。

ワクチンの接種については、公的機関が発信する情報のほかにも、SNS等において、科学的根拠や発信者の不明な情報が多く見られますが、ワクチンの安全性や効果は、臨床試験などにより確認されています。高齢者接種に続き、若い世代の皆様への接種の機会も広がっていますので、ご自身や大切な方を守るためにも、希望される方はワクチン接種の機会を積極的にご活用いただきますようお願いいたします。

また、SNSやインターネットなどで不安をかき立てるような情報を見聞きした場合でも、そのまま信じるのではなく、科学的根拠があるか、情報源は信頼できるものであるかなど確認をお願いします。県や国でもホームページ等で情報発信するとともに、相談窓口も設置していますので、ご活用をお願いしたいと思います。

感染された方、そのご家族、クラスター発生施設やその関係者の皆様、医療機関の皆様、県外からお越しになられた方、外国籍の方などに対する誹謗中傷、偏見や差別に繋がる行為は絶対に行わないでください。

なお、ワクチン接種は希望者の同意に基づき行われるものであり、職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けない、受けていない人に対する誹謗中傷、偏見や差別に繋がる行為は絶対に行わないでください。

県としましてもこれ以上の感染拡大とならないよう、感染防止対策とワクチン接種を両輪として対策に取り組んでまいりますので、引き続き一緒に取り組んでいただきますようお願いをいたします。

(資料を掲示) 感染拡大防止の関係で2つ出しておきますが、1つは今申しあげましたように、軽症者の方が多いという傾向が今あります。

発熱だけとか、喉が痛いというのだけとか、鼻水だけとかいうのがありますので、そういう場合でも、軽い症状であってもとにかく早期にかかりつけ医にご相談いただく。で、外出を避けていただく。そういうことをお願いしたいと思います。

身近なところで感染が広がっているので、身近な方との間でもしっかりと対策をとって欲しいということでもあります。

これが1つと、もう1個は先ほど言いましたように、この夏もしっかり対策をお願いしたいということで、4連休、夏休み、お盆、となってきます。

特に若い方で、学生の方とかもそうですけども、これまで学校とかそういうのがあって、そういう時間がなくなって、自由に使える時間が長くなるというようなこともあるかと思いますが、そういう時に大人数長時間とかの感染リスクが高まるような行動は、ぜひ避けていただきたいと思います。

私からは以上です。